

市債(借入金)の残高

◆令和4年度末現在の残高

会 計	令和4年度末現在高
一般会計	369億2,202万3千円
特別会計	7,780万5千円
合 計	369億9,982万8千円

◆市債残高の推移

年度	一般会計	特別会計	公営企業会計
平成30年度末	370億円	2億円	166億円
令和元年度末	393億円	1億円	161億円
令和2年度末	378億円	4億円	156億円
令和3年度末	406億円	2億円	151億円
令和4年度末	369億円	1億円	146億円

市の財政 健全化判断比率と資金不足比率

◆健全化判断比率 地方公共団体等の財政の状況を、数値でわかりやすく把握するために算出する指標です。数値が「早期健全化基準」を越えると、財政健全化への努力がより厳しく求められることになります。

→大和郡山市の令和4年度決算にもとづく各指標は、すべての数値が「早期健全化基準」をクリアしています。

※「△」=マイナスを表します		大和郡山市 令和4年度	(参考) 早期 健全化基準
実質赤字比率	一般会計等の赤字の比率	黒字のため 数値なし (昨年と変わらず)	12.5%
連結実質赤字比率	一般会計と特別会計・企業会計 全ての会計の赤字の比率		17.5%
実質公債費比率	市債(借金)の単年度返済額の 負担の重さを表す指標	8.1% (前年度比△1.5%)	25.0%
将来負担比率	市債の残高や公社・第3セクター の債務など、負担しなければならない 負債の大きさを表す指標	11.4% (前年度比+0.4%)	350.0%

◆資金不足比率 健全化判断比率と同様、公営企業の赤字の状況を表す指標。本市では、「水道事業会計」と「下水道事業会計」の2事業が対象。

→2事業とも、令和4年度決算額では資金不足額がないため、「経営健全化基準」をクリアしています。

市税の推移

(百万円)

年度	総額	個人市民税	法人市民税	固定資産税
平成30年度末	12,198	4,067	1,172	5,418
令和元年度末	12,287	4,084	1,156	5,500
令和2年度末	11,996	4,087	859	5,504
令和3年度末	11,910	3,999	946	5,392
令和4年度末	12,032	4,054	930	5,434



令和4年度 こんなところにお金を使いました

協働のまち

庁舎建設事業 ————— 5億22万1千円
地方税共通納税システム運用拡大事業 ————— 726万円

産業・環境

電子版プレミアム付商品券発行事業 — 3億1,727万8千円
公共交通燃料費高騰支援事業 ————— 843万6千円

安全・快適な暮らし

郡山城跡公園整備事業 ————— 4億8,177万9千円
市道伊豆七条高野線道路新設事業 — 1億7,730万8千円
都市計画道路城廻り線街路事業 — 1億2,809万5千円
都市公園長寿命化対策事業 ————— 6,874万2千円
消防団庫耐震化事業 ————— 2,194万8千円
市営住宅外壁等改修事業 ————— 9,881万2千円

子育て・教育

物価高騰に伴う子育て世帯応援給付金事業 ————— 1億4,617万7千円
低所得の子育て世帯生活支援特別給付金事業 ————— 1億971万1千円
学科指導教室「ASU」移転事業 ————— 8,716万4千円
出産・子育て応援事業 ————— 5,056万1千円
中学校トイレ全面改修事業 ————— 1,389万円

健康・福祉・生きがいづくり

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業 ————— 4億8,101万9千円
新型コロナウイルスワクチン接種事業 — 3億9,877万4千円
医療機関等物価高騰対策支援事業
(介護・障害サービス事業者向け含む) ————— 5,641万円
武道場空調設備整備事業 ————— 6,176万5千円



他にも大和郡山市独自にこのような事業を実施しました

- 幼児二人同乗用自転車購入補助事業 ————— 123万1千円
- 高齢者生活支援対策事業 ————— 159万8千円
- 福祉タクシー助成事業 ————— 614万5千円
- 一般不妊治療費助成事業 ————— 420万4千円
- 障害者(児)介護手当給付事業 ————— 2,341万8千円
- がん患者支援事業 ————— 51万6千円